

めかじき 中西部太平洋条約海域

評価対象種：メカジキ(小笠原諸島海域)



令和8年4月

資源の水準と動向「高位・横ばい」

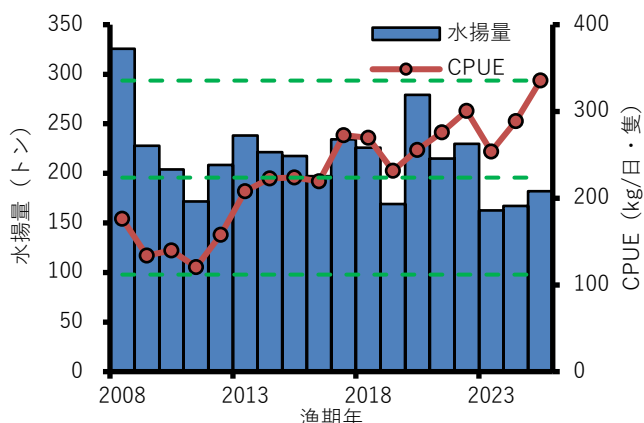


図1 水揚量とCPUEの推移

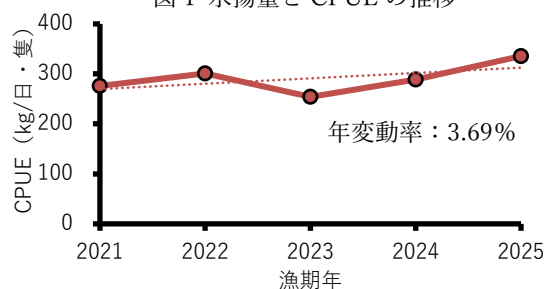


図2 立縄釣CPUEの年変動率

2008年以降の小笠原諸島海域におけるメカジキの水揚量は、2008年に最大値の326トンとなったが、その後は200トン前後で推移し、2025年は182トンとなった(図1)。CPUE(立縄釣漁業1日1隻あたりの水揚量)は2011年以降増加傾向で、157.9~300.8kg/日・隻で推移し、2025年に最大値の335.5kg/日・隻となった(図1)。

本資源評価票での資源量指標値はCPUEとした。2025年における資源の水準は、CPUEが335.5kg/日・隻で最大値となったため「高位」とした(図1)。

資源の動向は、直近5年間のCPUEから算出した年変動率が3.69%であり、年間±5%以上の増減でないため「横ばい」とした(図2)。

生態学的特性

- 分布・回遊：日本近海では、夏季に親潮域から黒潮続流域にかけての索餌海域に分布し、冬季には北緯30度以南の産卵海域に移動する¹⁾。
- 年齢・成長：雌雄で成長が異なり、雄は1歳で眼後叉長102.0cm、3歳で147.9cm、5歳で166.9cm、雌は1歳で100.5cm、3歳で147.7cm、5歳で179.6cmと推定される²⁾。
- 成熟・産卵：小笠原諸島海域における生殖腺熟度指数は、雌が5~6月、雄が3月に高い値をとり、産卵期は3~6月頃と推測される³⁾。
- 被捕食関係：アカイカ等のイカ類やハダカイワシ等の魚類を捕食する³⁾。

東京都におけるメカジキ漁

- 漁業：主に小笠原諸島海域での漁獲が多い。小笠原諸島海域ではかつお・まぐろ釣り漁業(知事許可漁業)として周年操業が行われており、主要な漁獲対象種となっている。
- 漁法：立縄釣により漁獲される。
- 管理：漁業許可における制限措置や許可条件の中で、操業隻数に上限を設けている。また、母島では東京都資源管理方針に基づく資源管理協定を策定し、自主的資源管理措置(体長制限や漁具制限)に取り組んでいる。

- 1) 田中優平・山口邦久. 2017. 北西太平洋におけるメカジキ *Xiphias gladius* の水平・鉛直遊泳行動. 日本水産学会誌, 83(6): 961-970.
- 2) DeMartini, E.E., J.H. Uchiyama, R.L. Humphreys Jr., J.D. Sampaga, and H.A. Williams. 2007. Age and growth of swordfish (*Xiphias gladius*) caught by the Hawaii-based pelagic longline fishery. *Fish. Bull.*, 105(3): 356-367.
- 3) [山口邦久. 2011. 小笠原諸島海域におけるメカジキの生態と漁業, 東京都水産海洋研究\(4\):1-28.](#)